

●ごあいさつ

統括校長 前田 平作



前田校長先生 近影

今年四月より東京都立工芸高校に異動になりました、前田平作です。前任校は、西東京市にある都立田無工業高校です。鳥屋尾史郎校長は、都立桜修館中等教育学校の校長としてご異動になりました。実は、私は、平成二十二年度と二十三年度の二年間、全日制の副校長でおりましたので、我が家に戻ってきた感覚があります。当時いらした教職員も専門学科には多くいらっしやいました、二年間のことを懐かしく話すことがあります。特に、平成二十

いっしょげい

誠実 元気
信愛 規律

三年三月十一日に発生した東日本大震災では、全日制の卒業式が終了し、別会場で卒業を祝う会をしました。別発生時は、私は五階のエレベータ前にいて、大きな揺れにしゃがみ込んだことを、鮮明に記憶しています。

さて、六年ぶりに戻ってきた工芸高校の印象は、生徒のものづくりへの熱い情熱は変わりのないものだと思えました。普通教科の勉強とものづくりを中心とした専門学科の取り組みは、並大抵の気持ちではこなすことができません。第一希望で工芸高校に入学してきた生徒ですから、両立できるのでしょう。放課後のわずかな時間を効率よく使い、休みの日には登校して、課題に取り組む姿は、百一年の工芸高校の伝統が脈々と受け継がれていることの証だと思えます。

卒業生も活躍しています。三月に本校を卒業したアートクラブ科の桑原瑞希さんは「第四十回日本新工芸展 第一回学生選抜展 谷中田美術賞受賞」という輝かしい実績を残しました。公益社団法人日本新工芸家連盟が、今年に四十周年を迎えることを機に、全国の高等学校や専門学校、大学などで工芸を学んでいる学生等の作品の展示

を通して、工芸美術の維持向上を目的に、日本新工芸学生選抜展を開催しました。全国の工芸系高校からの多数の応募作品の中から、栄えある第一回の谷中田美術賞受賞は、卒業生にも在校生にも大きな励みになったことと思います。このように、若い卒業生が、ものづくりの分野で活躍していることも、工芸高校の特色の一つだと思います。

また、東京2020大会のマラソンコースに本校前の交差点が通過点として指定されました。マラソンはオリンピック種目でも注目度の高い競技ですので、世界のメディアに東京都立工芸高校をアピールできる絶好の機会と考えています。東京2020大会に特化した懸垂幕の設置や、植え込み内に英文のメッセージの看板設置等を考えています。今後、生徒や教職員から企画を募り、オール工芸高校として、東京2020大会を盛り上げていきます。その際には、築地工芸会のご支援をいただきたく存じます。今後とも、よろしくお願いいたします。

平成30年度 工芸祭

平成30年10月27日(土)・28日(日)の2日間、母校に於いて「工芸祭」が開催されます。後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。
「工芸祭」見学の後に、クラス会を開催するクラスも増えていきます。

TAKI GROUP

広告制作会社
たきグループ

グループ創業者
滝澤方美
D3(昭29)

- (株)たき工房
- (株)たきホールディングス
- (株)日本コマースナルフォト
- (株)ブラン
- (株)ワークアップたき
- (株)インパクトたき
- (株)たきC1
- (株)タクト

株式会社たき工房
〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351(代) URL:http://www.taki.co.jp

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿樂町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

本年3月13日以降、本年8月27日まで、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

平井光吉、駒村武夫、綿谷佳泰、宮崎忠夫、重元春美、後藤康男、野村敬子、江戸孝、井上伸行、村林喜貞、高島久、上床亦、平野克久、佐味貫義、野村典子、二ッ森敦子、養田知幸、宝田満男、小俣勝弘、森田清、小嶋一行、小沢隆、村尾隆、石川孝史、桑原幸雄、津久井弘光、大林真理子、中村一夫、大平勝哉、永田忠史郎、関口希平、遠藤佑治、岡村行康、岩田精久、中村輝雄、橋正春、横尾浩、横山一雄、金親二郎、村奈嘉義雄、米山彰二、西多玲奈、峰尾武、深野浩一、田丸勝秋、内山孝、田中晶子、原田俊夫、林秀雄、木村明、小濱博枝、渡辺貴夫、丸山幸男、梶広幸、五十嵐賢治、田村徹、山田空子、鈴木幸男、安室典忠、塩原巖、秋葉典久、小林久展、坂内好夫、高田宏樹、関公宇、柴田良雄、田口寿恒、松井眞矢、辻忍、西田耕一郎、松本七五三吉、岩井輝興、浦野至誠、齋藤彩樹、齋藤恒平、峰万佐子、渡邊正一、島田政雄、中西照夫、高橋佳久、鈴木敏夫、高木家守子、高木実、中山一博、桜井久喜、中村保弘、川津敬介、原田雄一郎、丸山士郎、林哲三、渡辺昇平、藤井喜代子、佐野一義、田島悌彦、根本英明、勝矢重利、永井之弘、大滝史博、鳥居彦之、高橋寿夫、石井清一、辻野太郎丸、三田村幸治、金子満、坂巻謙一、松下美和也、

湯沢宋江、青山龍雄、橋本富一、時田桂代、井上正治、平井清美、土井常睦、中代源次郎、江戸孝、大島実、神藤一夫、新井徹夫、渡辺昭順、伊原光太郎、木下幸秀、井野上一寿、野極千尋、千石精一、久保木秋徳、上口睦人、田中稔、大澤章男、市村良策、石坂安男、尾崎光雄、渡辺一孝、堀越敏晴、塩崎恵一、バキュームモールド、久米田愛美、前川三男、原典生、西田三郎、桂剛、猪俣達夫、山木知二、安倍和人、高瀬明子、橋本恵光、永野間輝久、藤井賢治、松村金太郎、鈴木陽子、津田友政、笹沼健一、原和男、浅岡忠彦、永田義雄、糸魚川江里子、平井義章、関根伸司、馬場和夫、山田肯佑、小野達哉、小野塚均、伊藤早苗、大島身吉、乙部博一、大塚晃啓、庄司光利、羽切美代子、春山文典、駒村武夫、明治香保里、小畑健、酒寄昇一、岩崎龍二、池田正弘、成本徹、荒井拓哉、山崎真子、亀井格一、佐竹進、鈴木万里子、佐藤幸夫、鈴木良武、杉山哲三、南部昌宏、五反田稔、国本好子、松富壽嗣、鈴木季晴、小池源朗、丹野弘、鈴木康雄、岡野匡晋、岡野花恵、江澤信吾、石川純一、篠崎晴夫、長谷川栄、安富信也、打越長武、尾高好夫、薄井洗輝、砂口政範、岩井昌代、矢吹郁雄、大野武夫、市川温子、山田一彦、服部功、滝澤方美、石川進造、猪俣新治、赤坂忠男、森野菜緒、内藤亮一、田口公一、長坂里子、長坂和美、中野佑哉、大山栄一、森實、重弘忠晴、村上由香子、田中収蔵、横山肇、小宮富士夫、中山和江、遠藤英雄、愛甲喬、今野健三、神山隆夫、久保木聖子、宮本忠昌、浅見欣司、真田日呂史、千葉幸司、石井比功次、櫻井敏之、廣井清、小佐々憲、稲葉暢夫、菅野登、

柿坪英志郎、阿部達夫、大槻幸雄、松岡道夫、阿左美朱礼、伊東涉、佐久間悠太、野田真知子、小松佑、伊藤珠生、笹原花音、藤本威、高橋正文、遠藤紬生、高見俊徳、高橋雄作、石川吉通、野本能義、小泉久吉、栃本靖男、斎藤文男、関根幹夫、松井辰弘、南繁三郎、柴田信重、金井昭三、飯島曉、横山勝宏、南澤英雄、若沢良雄、大曾根正彦、稲葉実、近藤賢治、古木嘉雄、高橋裕次郎、藤岡俊平、田原造、金澤静夫、小島毅、沢田貞三、石倉孝、川本昭一、池野赫夫、一之瀬勲、吉田英昭、筒井健郎、鈴木康裕、田中和行、恒成芳郎、大川浩一、佐野一義、山本一郎、古澤貞男、田中聰行、北村忠之、長堀映司、宇都木邦明、巻嶋勝、寺田久子、大久保健二、久保田晃、久保田真奈美、野田康平、和田忠能、安田政敏、山下泰宏、間中辰男、三瓶正一、清水宏、芳賀昭三、廣部智、木村仁宣、秋山憲司、時本勝之亮、田島勝弘、伊藤滋男、長岩章、池田博、畑中ひと美、萬澤佐多子、大橋伸行、佐藤幸江、片岡良亮、小平確、石原義久、小宮滋、本杉麻紗史、白井勝司、穴吹昭勝、戸國潮、金子堅一、矢島三男、高麗瑛子、植野弘一、鈴木理継、川名葉子、福田哲夫、南伸宏、紅林正司、宮崎敬子、三門市康男、野澤和子、金子秀行、鶴飼千春、保科綾音、南園紗代子、市川花、松田梨沙、赤木正民、佐藤貴志、鎌田隆、若松延男、今井光一、牧野昇、戸津圭之介、永妻盛治、大橋新助、鈴木輝夫、斎藤シズエ、石井三樹郎、玉生澄子、鈴木眞友、磯野祥、奥村潤、佐藤充俊、大島みさき、日比孝、木村脩治、布施達也、肥沼孝明、福本章、瀬谷昌男、望月紀宏、小林朗、若沢良雄、佐野勝彦、林正二郎、細江邦雄、

中村高久、籠谷雅博、渡辺義太、高橋幸、天野昭二、福島良守、佐野一義、鈴木鬼之助、中丸啓、萬羽進、中谷三雄、児玉正子、飯沼勲、小川政之、林正清子、伊東久江、寺岡哲平、岡田里美、土屋秀幸、坪井裕、大澤駿也、山口積善、和田忠能、請地伸二、清水宏、其田卓三、秦範章、石毛多喜男、佐藤康守、中島隆、襟川英利、根岸利行、畑中ひと美、高野純一、大河原千尋、花岡虎之介、山中彩音、小宮允秀、油井進、杉浦俊和、向園唯久、富沢章一、山田喜守、浅岡輝彦、井坂克二、小泉弘、長谷川充、永井裕明、菊地和博、帆足宗二郎、松原宏二、福田一郎、塩田真梨奈、桜井清之、阿部明美、横山肇、野原政行、大作優、萩原太郎

平成30年度累計

四五六、〇〇〇円

◆平成30年度第1回理事会報告

平成30年5月7日、母校会議室において平成30年度第1回理事会が開催されました。

●議事に先立ち、次の新理事が提案され、承認されました。

新理事 G科 大賀 勉(昭和45卒) 佐々木慎一(昭和48卒)

1. 平成29年度決算・平成30年度予算報告

・会費は対前期・約36万円増加した。
・寄付は対前期・約41万円増えた。
・平成29年度決算・平成30年度予算は承認された。

2. 会員数、会費納入・寄付・広告の
現況について

・1月特別号発行により新たに会費を
納入してくれた同窓生・174名
・寄付・4月号から振込用紙を分かり
やすく改善

・広告・平成29年度の広告主から30年
度掲載の承諾をいただいた。

3. ホームページの活用について

4. OB展示について経過報告
その他

●支部だより

●「関西工芸会の集い」ご案内

今年で58回目を迎える伝統の関西工
芸会の集い。今まで開催地を京都・大
阪で長年して参りましたが、本年は久
しぶりに、兵庫は神戸で11月3日に開
催致します。

神戸市の灘は日本三大酒処の一つで、
この度は灘にある酒蔵神戸酒心館内に
ある料亭『さかばやし』にて12時から
行います。会食後は蔵見学の予定です。
▼日時・11月3日(出) 12時

会場・神戸・酒心館内「さかばやし」
関西工芸会会員の皆様には9月頃出
欠案内を出しますが、一度も案内が届
いていない関西在住の方は関西工芸会
で把握が出来ていないので築地工芸会
までご連絡下さい！
今年も元気な皆様と会えること楽し
みにしております！

関西工芸会事務局
松田 健(平成13・A卒)

●中京工芸会節分会

中京工芸会の「節分会」も恒例にな
りました。

今年も2月3日名古屋の日本料理
「大森」で開催しました。「大森」の女
将と若女将が古代の女性に扮するのを
機に中京工芸会有志の親睦と、役員会
を兼ねて以下の5人が集まってくれま
した。

下山田信一郎会長(S23M卒)・安
藤孝久さん(S35M卒)・岩佐泰樹さ
ん(S40D卒)・井上京子さん(旧姓
今泉S50F卒)・長谷川充さん(旧姓
田上S50D卒)です。

今後の中京工芸会について、議論し
て頂きました。当日は世話役の五反田
(S35M卒)がインフルエンザ手前の
風邪で急遽欠席となり、後日再度の役
員会で今年の総会(第55回)の詳細を



2月3日 恒例の節分会

つめさせて頂きましたことを付記させ
て頂きます。

●第55回中京工芸会総会のご案内

これまでは、毎年10月の第3日曜日
を「中京工芸会の日」と決めて、開催
して来ましたが、10月は色々と地域の
行事(お祭り等)と重なり、出席出来
ないとの声があり、今年は、1ヶ月遅
らせ11月に開催することにしました。
出席者が増えることを期待しています。

今年第55回です。毎年欠かすこと
なく半世紀以上の歴史を刻んでいま
す。工芸同窓生の老若男女が一堂に会
し、昔話に花を咲かせて欲しいと思っ
ます。会員の方には別途事務局より、
案内状を送ります。

会場は名古屋城に隣接した、能楽堂
の敷地内に有り、雰囲気有る場所です。

日時 11月18日(日)12時
場所 日本料理 大森
TEL 052-218-2220
名古屋市中区三の丸1-1-1
(名古屋能楽堂内)

中京工芸会副会長
五反田 稔(昭35・M卒)

訃報

前回の会報171号以後、本会宛正
式にご連絡がありました方々は、次の
皆様です。ご冥福をお祈り申しあげま
す。()内は逝去された日です。

内田 盛雄氏 旧職員(30)
川瀬 求女氏 昭14・F卒(30・7・23)
飯野 健次氏 昭16・A卒(29・6・1)

技術資料の制作

PLANNING CENTER STATION.M 有限会社ステーション・エム

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

清水 健敬氏	昭17・A卒	(28・6・23)
鈴木 三郎氏	昭20・M卒	(29・11・27)
大隅 照雄氏	昭20・F卒	(30・5・7)
満留 次男氏	昭20・P卒	(29・4・27)
飯塚 和夫氏	昭21・M卒	(28・11・15)
竹之内徳博氏	昭21・M卒	(30・3・4)
浅野 雅司氏	昭24・M卒	(29・8・3)
石山 裕爾氏	昭30・M卒	(30・4・21)
林部 泰一氏	昭34・F卒	(29・9・20)
池田 彰行氏	昭36・F卒	(30・3・17)
木村 彰夫氏	昭40・P卒	(29・5・12)
大和 朗氏	平元・F卒	(23)

● 校友の活躍

第40回日本新工芸展

第1回学生選抜展で

「谷中田美術賞」を受賞された

桑原 瑞希さん（平成30年・A卒）

この春にA科を卒業した桑原瑞希さんが第40回日本新工芸展 第1回学生選抜展で、「谷中田美術賞」を受賞しました。桑原さんの作品制作に対する考え方や、工芸時代からの思い出などを語っていただきました。

この作品は、アートクラフト科で学んだ鍛金技法で作したものです。猿は銅、バナナは真鍮でできていて、私は、この一枚の板からだんだん形が変



受賞された桑原瑞希さんの作品

わっていくところや、打った鋸目一つ一つが形作るところ、手が金属の匂いになるところ、そして、絞るうちに無心になれる鍛金が大好きです。私がこの鍛金技法で表現したかったことは、観る人と作品が同じ空間にいるようにしたいということです。そのため、実物大の猿とバナナの大きさにこだわりました。展示室の壁から猿が飛び出してきた、バナナを取ろうとしているような、また、その猿と目が合っているよつたら面白いのではないかと思い制作しました。特にこだわったところは、猿の表情です。目線やシワなどにこだわり、ちよつとびっくりしたような表情を目指しました。顔は赤茶色にする煮色着色、体はこげ茶色に燻すなど、銅でしか出せない色味にもこだわります。

した。見るだけで楽しいようなそんな作品に、ちよつとでもなれたのではないかなと思います。制作にあたって、自分の技術では難しいことが沢山ありましたが、それを完成するまで手伝って下さった先生方、友人には本当に感謝しています。そして、第一回学生選抜展という場でとても貴重な経験をさせて頂いたこと、本当に光栄に思います。

工芸高校を卒業した今は、武蔵野美術大学で空間デザインについて学んでいます。A科ではいろいろなことを学んだので、その経験がどんな制作のときも活かされています。何よりも、自分の手で作り上げる大変さや凄さを学んだことが大きな経験であったと感じています。大学の制作には、様々な素材を扱うようになりました。今後の制作でも、金属を使って空間を表現してみたいと考えています。私の目標は、作品で人を楽しませることです。これは高校の時からずっと変わらない目標です。これからも、もっと人を笑顔にできるような作品を追求していこうと思います。

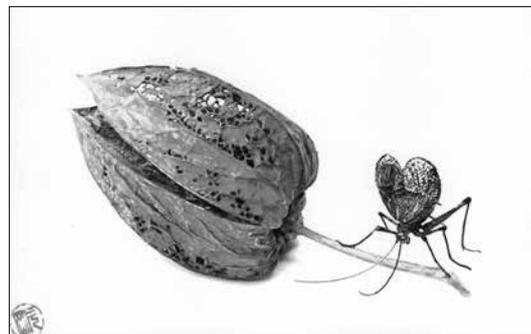
「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展、出品、受賞、クラス会等の様子をお知らせ下さい。

郵送先：築地工芸会（工芸高校の住所）
メール送付先：taguya@nifty.com

◎ 個展

片岡 浩 細密工芸展（元・A科教員）
— 自在置物、ミニチュア、カラクリ、額による —
銀座 光画廊



可動式網ホオズキ 可動式鈴虫

◎ 出品

模型サークル B・M・C 展示会
第29回モデラーズクラブ合同作品展
（同時開催 第57回静岡ホビーショー）
ツインメッセ静岡南館・西館
藤岡 俊平氏（平成26・M卒）

今後の展示会予定

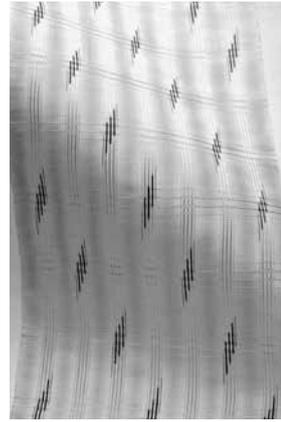
- 第2回模型サークルB・M・C 展示会
2018年10月13日(土)・14日(日)
会場 東京卸商センター A室
- 横浜モデラーズクラブ合同展示会2019
2019年2月2日(土)・3日(日)
会場 横浜ワールドポーターズ

次の方々の出品がありました。

◎出品

第52回 日本伝統工芸染織展

日本橋三越本店 本館7階
鈴木 ゆき子氏 (昭和49・D卒)
吉野格子緋織着物「山菜莢」



鈴木さんの作品「山菜莢」

第58回 東日本伝統工芸展

日本橋三越本店 新館7階ギャラリ
・染織
鈴木 ゆき子氏 (昭和49・D卒)
・絨織着物「紅霞」

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着尺「十字角文」

・金工

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

切嵌の花器

・木竹工

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝
楓嵌装長方箱

工芸・Kogeiの創造

人間国宝
銀座 和光本館6階 和光ホール

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝

木工芸―須田賢司と五人の作家展

日本橋三越本店 本館6階 美術工芸サロン
須田 賢司氏 (昭和48・F卒)
人間国宝

2018年第57回

日本現代工芸美術展

上野公園・東京都美術館

春山 文典氏 (昭和39・F卒)

宙のコンポジション



春山さんの作品「宙のコンポジション」

第2回カタコトの会展

江戸からかみ東京松屋4F
松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着物 綿紬 型染め

「松文」

藍形染め 帯 紬 型染め

「縞笹」

92 国展

六本木国立新美術館

安富 信也氏 (昭和31・D卒)

罪、墮落・希望

・この作品は福岡県のミッションスクール折尾愛真学園短期大学チャペルに展示收藏が決定しました



安富さんの作品「罪、墮落・希望」



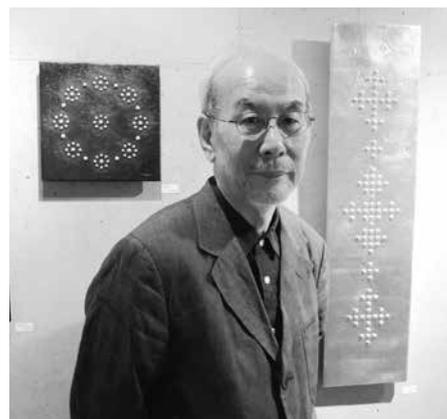
松原さんの作品「松文」

◎個展

橋場 信夫・光のマンダラ

井の頭公園 アートスペース水音

橋場信夫氏 (昭和44・D卒)



橋場信夫さん 個展会場にて

いさか かつじ展

寄り道：

銀座 ギャラリー路地裏

いさかかつじ氏 (昭和37・D卒)



個展会場で いさかかつじさん

「伝統文化ポौरラ賞」を受賞された

松原 伸生さん（昭和59年・D卒）

昭和59年D科卒業の松原伸生さんは、ポौरラ財団から「伝統文化ポौरラ賞」を受賞されました。松原さんは受賞の喜びを次のように語られました。

「伝統文化ポौरラ賞」は一企業の財団による顕彰のなかでも、工芸、芸能、地域文化といった、幅広い日本の伝統文化に対して、その重要性、今後の技術伝承の為の期待度等を専門的に精査し厳選した選考をしてきた歴史がある賞なので、個人的にも大変荣誉ある賞と認識しています。その優秀賞として選ばれたことは、身にあまる光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。これを励みにこれからも精進して参りたいと思います。



製作中の松原さん

ありがとうございました。

「伝統文化ポौरラ賞」紹介サイトでは、次のように紹介されています。（抜粋）

藍と白の明快な対比が際立つ「長板中形」。6メートルを超す細長い板に生地を張り、「型紙」の柄に合わせて糊を置き、本藍で染める熟練の技を要する伝統工芸だ。

昭和59年、伸生さんは東京都立工芸高等学校を卒業後、19歳の時に現在の環境のいい千葉県君津市に工房を構えて一家で移り住み、父親を師として「長板中形」の修業が始まった。その精巧無比な両面型付の技術や清涼感ある染め色の発色、麻や絹などの生地を使用するなど、洗練された作品づくり挑戦する姿勢が評価されている。その実力は、昭和62年に日本伝統工芸展、伝統工芸新作展の初入選を皮切りに毎

● 校友の活躍

年のように受賞を重ねており、特にここ10年くらいの工芸会での進境も著しく、その充実した活動が評価されて今回の受賞となった。平成29年には千葉県指定無形文化財保持者の認定も受けている。

◎ 出品

第66回 彫刻 創型展'18

上野公園・東京都美術館・ギャラリー

同人

佐野 一義氏（昭和17・F卒）

「清澄」



佐野さんの作品「清澄」

渡邊 賢二氏（元M科教員）

「薬師如来坐像」

「制吒迦童子」



渡邊先生と「薬師如来坐像」

一般

豊島 眞氏（昭和29年・M卒）

「慧可断臂図」



渡邊さんの作品「制吒迦童子」

神山 智子氏

（昭和47・D卒／元D科教員）

会友推挙

「百済観音」

「誦月吟花」



神山さんの作品「百済観音」



豊島さんの作品「慧可断臂図」

●第56回 技能五輪全国大会 (沖縄大会) 開催のお知らせ

第56回 技能五輪全国大会(沖縄大会)が下記の日程および会場で開催されます

開催日

H30年11月2日(金)～11月5日(月)

各職種競技は、

11月3日(土)・祝～4日(日)

会場

沖縄県那覇市・沖縄市を中心に、宜野湾市、浦添市、豊見城市、うるま市等の15施設に分散し大会が行なわれます

主催

厚生労働省 沖縄県
中央職業能力開発協会

後援

文部科学省 経済産業省 国土交通省 各都道府県 各都道府県職業能力開発協会 全国技能士会連合会 日本経済団体連合会 NHK 日本商工会議所他

出場選手

貴金属装身具製作、建築大工、建具、ウェブデザイン、機械製図、精密機器組み立てなど42職種に、1,700名を超える選手が出場し技を競います

出場条件

23歳以下で、全国より職種ごとの予選会によって選抜された選手(一部の職種では、24歳以下まで出場可)
*この技能五輪沖縄大会で優勝した選手には、来年度(2019年8月)、ロシ

アのカザン地区で開催される『第45回技能五輪国際大会』に日本代表選手として参加する権利が与えられます。

各科に関連のある職種

A科 貴金属装身具製作(沖縄県運動公園 レクトーム・沖縄市)

時計修理(奥武山公園 特設会場・那覇市)

M科 電子機器組み立て、工場電気設備(那覇市民体育館・那覇市)

旋盤、フライス盤、構造物鉄工(うるま地区内賃貸工場・うるま市)

I科 家具製作、建具製作、建築大工(浦添運動公園 特設会場・浦添市)

木型(宜野湾海浜公園 特設会場・宜野湾市)

G科 ウェブデザイン(那覇市民体育館・那覇市)

機械製図(宜野湾海浜公園 特設会場・宜野湾市)

D科 フラワー装飾、美容、理容、レストランサービス(沖縄県運動公園 レクトーム・沖縄市)

その他の職種 和裁、洋裁、メカトロニクス(沖縄コンベンションセンター・宜野湾市)

*「第38回 全国アビリンピック」も並行して同時開催されます。



第56回技能五輪 沖縄大会ガイド

●100年の時を繋ぐ 『MODIGLIANI』の復刻版を 作る会にご賛同ください

飯島 清 (昭和33・P卒)

今から概ね100年前、モディリアーニが没した時、大詩人、アンドレ・サルモンの追悼文を添えて『MODIGLIANI』という作品集がパリの EDITION DES QUATRE CHEMINSより出版されました。1932年頃、笹本恒子さんは小林万吾主宰の同舟絵画研究所にて画家を目指していました。その会の同人には鎌田正蔵、杉全直、白滝弥彦、佐田勝、加藤太郎などがいました。ある日、友人から『MODIGLIANI』を見せられ、どうしても欲しくなって譲ってもらった とのこと。その本に昭和貳年十月と筆書きされ、郎と読み取れる朱印が押されています。この本の持ち主は加藤さんだ。笹本さんはその後、ある人の勧めで、日本で最初の女性報道写真家の道を進まれましたが、この本は大事に持ち続けて来られました。この画集はコロタイプ印刷、濃淡の階調再現がとても良いものですが、少数しか出来なかつたと思われまます。因に献本ナンバー1525と記されています。

た。早速テスト印刷を進め、とても良い感じの印刷が出来たのですが、諸般の事情でストップせざるを得なくなつてしまいました。それから25年が過ぎ、モディリアーニ生誕134年、没後98年。100年後の人たちに復刻版を見せたいという笹本恒子さんの希望を叶えて差上げた。皆様のお力をお借りしたいと思いましたが。復刻版は、大詩人・アンドレ・サルモンの追悼文は仏文は初版の印刷を複写で使い、和訳を添え、作品は額絵として使えるようシートにしようと計画しています。

『100年の時を繋ぐ』復刻版製作は、皆様の厚い御協賛を得て成し遂げたく思っております。どうぞお力添えを宜しくお願い申し上げます。

※加藤太郎 1915(大正4)年 宮崎県生まれ。東京府立工芸学校金工課に入学。1933年に東京美術学校油画科入学。1945年6月7日没。
販売価格 8,500円+税(予定)
(有遊人工房)

FAX 03-5791-4392
電話 03-5791-4391
E-Mail yujin-kb@uramus.dti.jp



● クラス会

●昭和29年定時制M科卒一泊クラス会
 4月19、20日、信州穂高のホテル・アンビエント安曇野で齢83歳の一泊クラス会を開催、連絡のとれた17名中、参加者6名、同伴家族4名、計10名で新宿バスタから高速バスで一路松本へ。国宝松本城に寄って夕刻到着。翌日は「そば処」でうまいソバで満腹。無事帰着した。一泊クラス会はこれで最後。
 (田嶋照郎)



昭和29年定時制M科卒一泊クラス会

●昭和32年全日制F科卒「傘寿を祝うクラス会」
 平成30年6月9日(土)に行った80歳の節目のクラス会。今回は恩師・牛込源晃先生のお住まいの近くの西新井大師門前／割烹「武蔵屋」で開催。

個々の都合もあり、いつもより人数だったが、大変お元気な恩師を囲み



昭和32年全日制F科卒「傘寿を祝うクラス会」

ながらのクラス会。
 一時とはいえ、クラスメイトと勝手気ままに談笑できることは幸せだ。
 世の中、「人生100年」の話も聞こえるが、これからもクラス会を継続したいと思っている。
 (森谷延周)

— 入賞者・資格・成績 —

定時制

●第49回機械製図検定

合格 4年M科 中田泰陽

●第78回計算技術検定

3級合格 2年M科 河合風河

成田梨那 山岸諒

●第35回パソコン利用技術検定

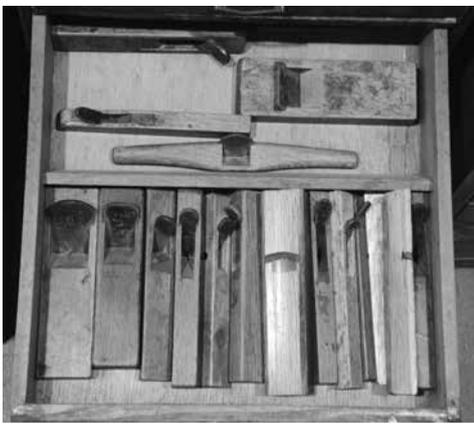
2級合格 4年A科 川崎風花

田村詩琉来 野呂田夏美

母 校 だ よ り

大隅照雄氏(昭和20・F卒)のご子息が昭和天皇の家具の設計図、道具等を母校に寄贈

大隅照雄氏のご子息・大隅良雄氏(株進工舎 代表取締役社長)が来校され、ご尊父がお亡くなりになり、遺品の中から大隅照雄氏が設計・製作された昭和天皇の「奥宮殿両陛下御寢室の化粧ダンス コーヒーキャビネット」の設計図や昭和天皇の家具製作専用の道具一式等を寄贈されました。寄贈された品の展示や保管については、I科が検討中とのことです。



昭和天皇の家具製作専用の道具

●東京都高体連定時制通信制春季剣道大会
 優勝 4年G科 井上瑞貴
 3年A科 長谷川葵
 松本伊織
 2年A科 林颯太
 林部瑞穂 桃野力

●D科 OB・OG作品展示
 母校におけるOB・OG展示は、D科の作品が展示されています。次はA科の展示が予定されています。



D科 OB・OG展示

プラスチック 真空成形型 圧空成形型
 金型製作 プレス抜型 トムソン抜型

企画 — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ
 デザイン

V. MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11
 tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
 埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5
 tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-
<http://www.vmold.co.jp/>
 e-mail
caduser@vmold.co.jp